

# 高山エネルギー大作戦

NPO 法人活エネルギーアカデミー

【住 所】〒506-0045 岐阜県高山市赤保木町297   【TEL】0577-32-6044  
【URL】https://www.enepo-takayama.com

## 活動概要

2014年高山市主催の「高山エネルギー大作戦」に参加した市民が中心となり、自然エネルギー活用を具体的に実行すべく、NPO法人を設立。高山市は日本一面積の大きい市で、その92%が山林を占める。このような豊富な森林資源が目前にあるにも関わらず、化石燃料費として高額なお金を、海外へ流出しているという現実がある。また、間伐施業で搬出される木材は、地元でうまく活用されず、地産の木工品や建築物の材料には、外国産材が多く使われている流れとなっていた。このような非効率な流れを変えようと、市と連携し間伐材の定期物流システムを構築、木質バイオマス燃料など、間伐材を余すところなく活用し、生まれた価値を地域内循環させるために地域通貨 Enepo を発行・運営している。



木の駅メンバー。天候に関係なく毎週水木曜の午前集合し、間伐作業を一年を通して行っている

## 緩和分野

**間伐材の利活用のための 定期物流システムと地域通貨Enepoの発行運営による循環型経済モデル**

**1 間伐材の定期物流システム**  
行先との距離による搬送トラックが、毎週1回約13台の集積場(木の駅)を巡回。集まった間伐材を市内各事業所へ届ける仕組みです。

**2 間伐材の利活用**  
木の駅は町内から集まってくるので、木質燃料、炭、薪から炭、建築物材まで可能な限り利用します。

**3 通貨発行と運営**  
出回るとなれば地域通貨Enepoとして町民が買い・使い、関係地域で消費できる仕組みです。集めた金額は町民が消費する際に、デジタル地域通貨(ふるさとポイント)にも換算することにより、森林資源が地域経済を潤します。

間伐材の利活用のための、定期物流システムと地域通貨 Enepo の発行運営による循環型経済モデル